



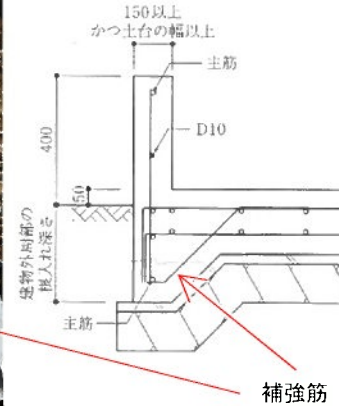
5日目の全景

住宅メーカー等の現場では、工場で溶接によって組み上げられた鉄筋「ユニット鉄筋」を目にする事が多くありますが、今回の基礎鉄筋は、現場で結束線による組み立てを行いました。



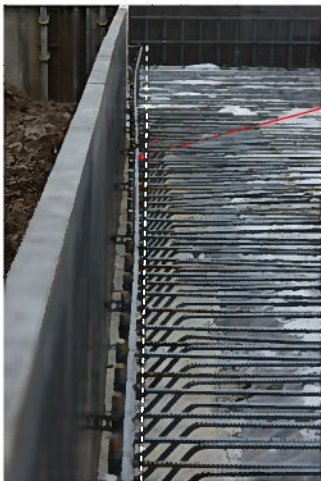
4日目の全景

鉄筋は現場で組み上げていきますが、上に示す様な鉄筋の曲げ加工は、工場で加工された状態で現場に持ち込まれておりました。



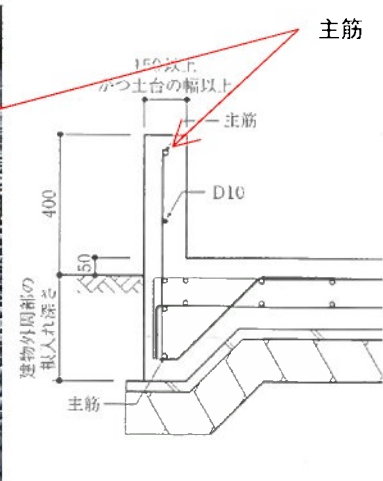
作業途中の全景

耐圧盤の横筋組み上げ前の状況です。今回の鉄筋は、人通口の補強筋以外は全てD13を使用していました。



主筋(横筋)の通り

鉄筋を全て組み上げていくため、それぞれの鉄筋はどうしてもある程度蛇行してしまいました。



作業途中の全景



作業途中の全景



**作業途中の全景**

耐圧盤の縦・横それぞれの鉄筋組み上げ前の状況です。耐圧版底面からの被り厚を確保するため、ピンコロを適宜配置し、鉄筋を浮かします。



**耐圧版の鉄筋結束**



**耐圧盤の鉄筋組み立て完了**

外周立上り・耐圧盤の鉄筋組立が完了した状況です。鉄筋のピッチ(間隔)、鉄筋径は各現場によって異なり、構造計算結果のより算出されます。



**間仕切り基礎鉄筋の組み立て①**

耐圧盤の鉄筋が組み上がると、引き続き間仕切り基礎の鉄筋を組み立てていきました。



**間仕切り基礎鉄筋の組み立て②**



**間仕切り基礎鉄筋の組み立て③**

2015年12月23日(水) [着工5日目] 配筋③



間仕切り基礎鉄筋の組み立て④



補強のための鉄筋追加箇所①

主筋(横筋)が上下共に2本補強(追加)されている状況です。



補強のための鉄筋追加箇所②



鉄筋ピッチの確認①

耐圧盤、立上り部それぞれのピッチ・被り厚の確認状況。



鉄筋ピッチの確認②



鉄筋ピッチの確認③



間仕切り基礎鉄筋の組み立て⑤



基礎鉄筋配筋完了①(全景)



基礎鉄筋配筋完了②(全景)



基礎鉄筋配筋完了③(外周立ち上がり部)



基礎鉄筋配筋完了④(間仕切り部)



基礎鉄筋配筋完了⑤(全景)

2015年12月24日(木) [着工6日目] ベースコンクリート打設①



6日目作業開始前に全景①

前日(23日)の背筋完了後、水工店による先行配管が行われました。



6日目作業開始前に全景②



6日目作業開始前に全景③



型枠の通りとアンカーボルト固定金具の取付

型枠内面ラインに水系を張り、サポーターのターンバックルで型枠の蛇行を修正しました。



アンカーボルト梱包状況(M12)

1箱に10本まで収納でき、5本×2段構成の梱包で出荷されます。



アンカーボルト梱包状況(M16)

1箱に5本まで収納された状態で出荷されます。

2015年12月24日(木) [着工6日目] ベースコンクリート打設②



**打ち上がり高さ**

ベースコンクリート打設前に、打ち上がり天端高さの目印を付けました。

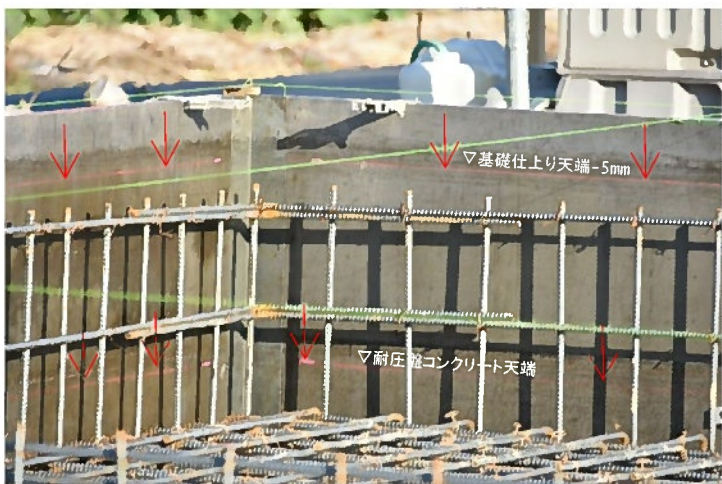


**コンクリート打設途中の目印①**

コンクリートの流し込みは、この目印を目安に進めていきました。



**コンクリート打設途中の目印②**

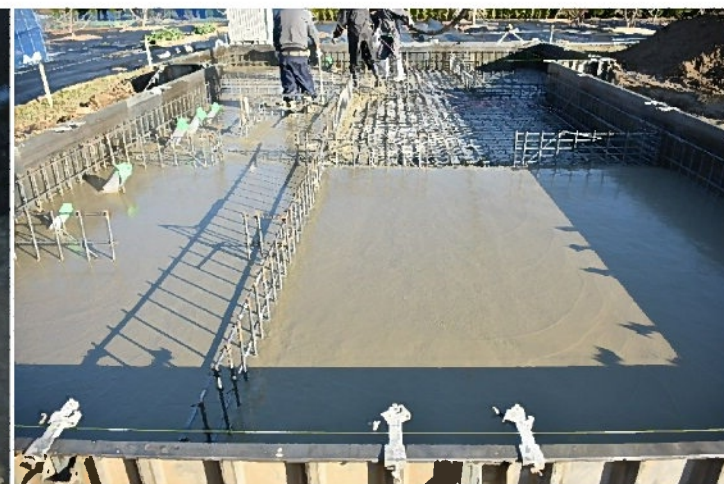


**型枠へのコンクリート打設高さの墨出し**

型枠には、①ベース(耐圧盤)天端、②基礎立上り部仕上り天端\*と、それぞれ墨を出しておきます。



**コンクリート打設途中の墨**



**ベースコンクリート打設状況(全景)**

※ 今回の立上り天端レベルの墨については、コンクリート打設天端とし、仕上り天端(=レベル天端)-5mmでした。

## 2015年12月25日(金) [着工7日目] 内部型枠設置・アンカーボルト吊り込み①



### 7日目作業開始前の全景①

前日(24日)午後のコンクリート打設から丸一日弱、引き続き残りの型枠の設置から作業を開始しました。



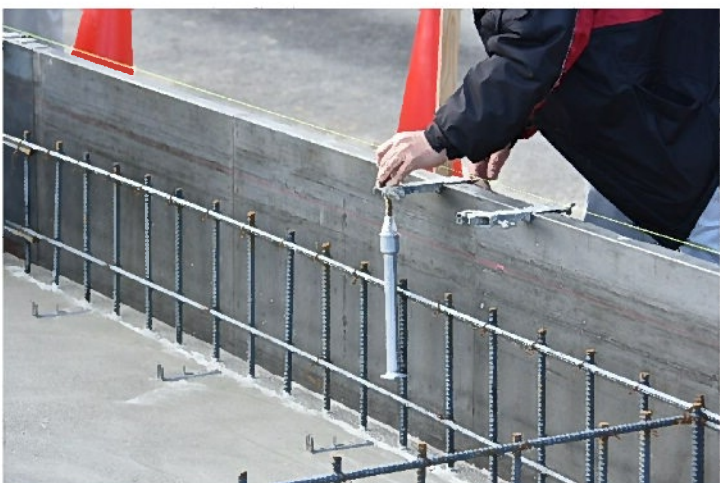
### 7日目作業開始前の全景②

コンクリート打設直後の硬化前には型枠の通りを再確認し、型枠固定用サポーターのターンバックルを調整することで、コンクリート流し込みによる型枠の外側へのはらみ出しを防ぎます。



### 型枠固定金具の設置

コンクリート打設直後の硬化前に設置し、固定用の釘を押し込んでおくことで、硬化とともに固定が完了できるという現場の工夫です。



### 鉄筋とアンカーボルトの取り合い

今回は、型枠に片持ちの「アンカーボルト固定金具」を取り付け、ぶら下げる用に設置しました。

※ 基礎屋さんによって使用する型枠(鋼製or木製)やアンカーボルトの固定方法(固定金具or結束線等)は異なります。



### 現場見学に来られた検査員の方等への納まり説明

事前に販売検査代理店のご担当者及び検査員の方々に告知させて頂いてました通り、現場のご協力を頂き、25日、26日の2日間にてアンカーボルトの納まりや現場でのチェック内容の確認を行いました。

※ 25、26日の2日間で延べ25名の方にご参加頂きました。



### 「新建ハウジング」さんの取材

26日(土)には、「国内初 液状化後の修復を容易にする工法(モードセル工法)」の初物件として、新建新聞社さんから取材をして頂きました。

※ ↓↓↓リビングプラザさんのHPから取材風景をご覧頂けます↓↓↓。  
<http://www.living-plaza.co.jp/media/media.html>

# 2015年12月25日(金) [着工7日目] 内部型枠設置・アンカーボルト吊り込み②



## 型枠設置とアンカーボルト吊り込みの手順

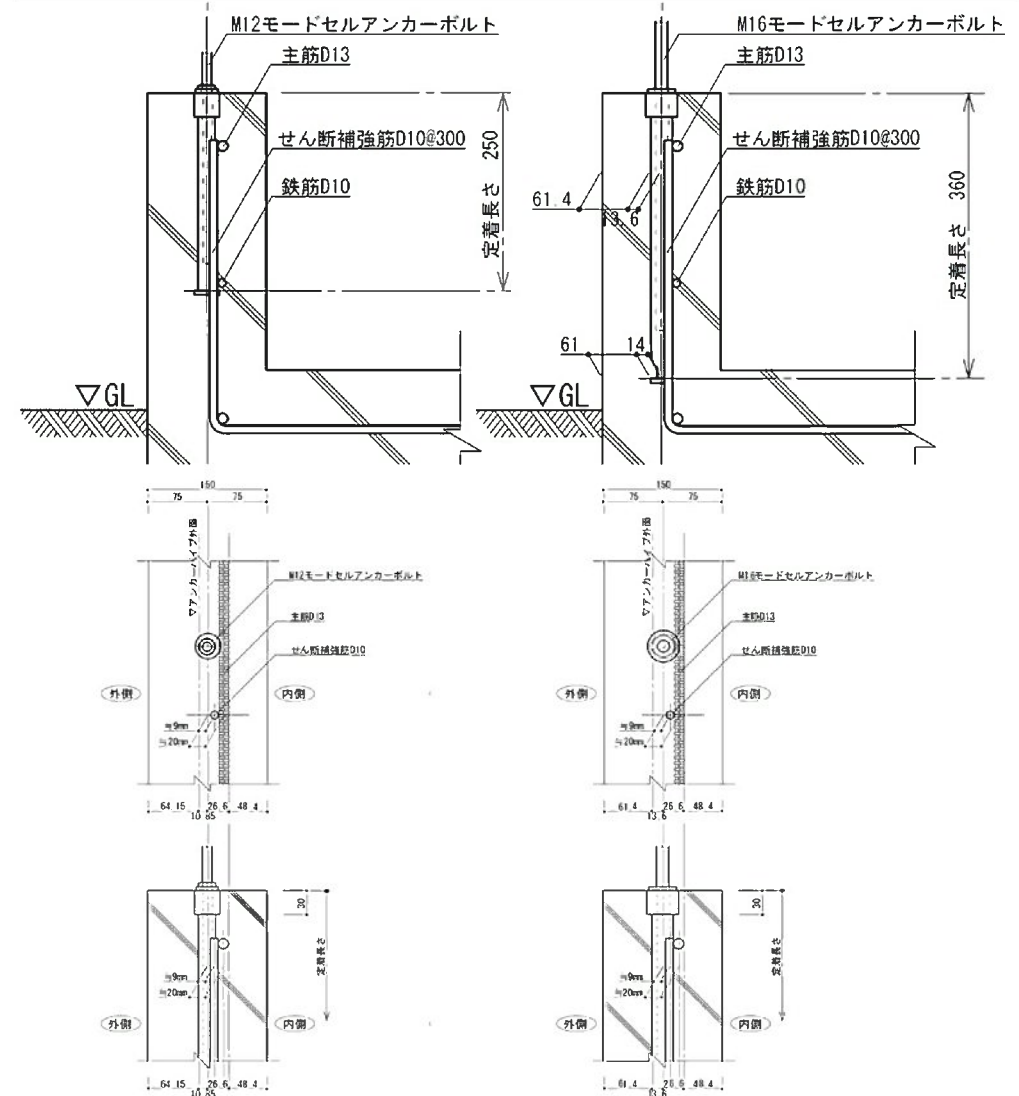
今回の施工手順は、ベースコンクリート打設以降→残りの型枠設置→アンカーボルト吊り込みでした。「型枠の設置」と「アンカーボルトの吊り込み」は順序が逆の場合もありますので、検査のタイミングは現場監督等に確認してください。



## アンカーボルト吊り込み後の状況

基礎鉄筋とアンカーボルトの取り合いに関して、標準納まりでは右記の通り定めております。しかし、立上り部の主筋(横筋)が蛇行している場合(12/23配筋①)下段左の写真参照)及び図面に鉄筋位置が指示されており、標準納まりが不可の場合には、現場状況に応じて適宜対応してください。

※ 今回の現場では、鉄筋の状況に応じて、被り厚を確保しながらアンカーボルトを鉄筋の内側・外側に振り分けて設置しました。



## モードセルアンカーボルト標準納まり図

鉄筋とアンカーボルトの取り合いは、標準納まりとして下記の通り定めております。

「基礎芯=土台芯=アンカーボルト芯」

アンカーボルトが基礎芯となるため、基礎鉄筋は被り厚を考慮し、外周部では内側に寄せるようにしております。(上図参照)ただし、鉄筋の位置については現場状況に応じて上記の標準納まりに対応できない場合がありますので、適宜ご対応頂ければと思います。